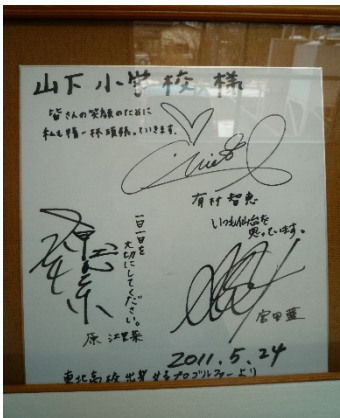
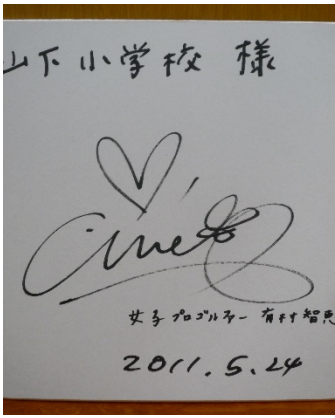




平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【宮城県】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	実施学校 山元町立山下小学校 実施学年 第6学年児童 32名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 () ② 行事名 () ③ その他(学級活動) () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・東日本大震災以降、継続して支援をいただいているアスリートの思いに触れることで、感謝や思いやりの心を育むとともに、郷土の復興のために自分なりの役割を果たそうとする心情を育てる。
5 取組内容	1 プロゴルファー有村智恵さんについて調べる。 (1) 有村智恵さんが山下小学校と関わりを持ったきっかけを知る。 ○学校に残る記録をもとに調べる。   ・熊本県出身ではあるものの高校時代を仙台で過ごした有村さんは、東日本大震災後、何らかの形で被災地を応援したいと考えた。当時、同じ高校ゴルフ部出身の仲間と山下小学校を訪問したことをきっかけに交流が続いている。

	<p>2 有村さんから、夢をもち挑戦することの大切さについて話を聞く。</p> <p>(1) 有村智恵さんの夢やその実現に向けての話を聞く。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <ul style="list-style-type: none"> • 有村さんは、自身の夢を実現するためにアメリカに渡り、メジャーに挑戦したが、思うような結果を得られず、挫折を繰り返したという話を聞く。 • 挫折を繰り返したが、その都度、自分を応援してくれている人のことを思い出し、前向きに挑戦できたという話を聞く。 <p>(2) 自分たちの夢について発表する。</p>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 有村さんとの交流を通して次のような感想を持つ子供たちが多かった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 有村さんの話を聞き、失敗してもあきらめない心を持つことが大切だと感じた。 <input type="checkbox"/> 誰かのために努力する大切さを学んだ。 <input type="checkbox"/> 夢を実現するために、目標を決めて努力し続けることの大切さを学んだ。 <input type="checkbox"/> 感謝の気持ちを持ち続けることの大切さを感じた。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の作文や感想から、夢や志を持つ大切さを感じ取ったように思われる。
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲストティーチャーやスポーツの内容について、事前指導を行い、予備知識を持って交流することが大切である。 ○ ゲストティーチャーと児童との双方向交流が図ることができるよう、コーディネートしていく必要がある。 ○ 映像資料等を効果的に活用し、学習を進めていくことが大切である。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲストティーチャーの日程に合わせた計画を立案しなければならない。年間を見通した計画が立てにくい。 ○ ゲストティーチャーからの講話という一方向での交流にならないような工夫が必要である。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲストティーチャーの思いをしっかり受け止め、交流を継続したいと考える。